

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-30 □支 援 部 門 運営事業(下水道特会)									
主管課	道水路管理課				関連課	都市整備総務課				
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	生活環境や住民ニーズの多様化に伴う迅速かつ的確な対応を目指す									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	451	440	475						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	451	440	475						
	人員配置数	0.4	0.4	0.4						
	人 件 費(千円)	3,514	3,640	3,608						
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,965	4,080	4,083						
	市民1人当 りの経費(円)	22	23	23						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。								
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。								
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止								
運営事業	451千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	事務事業の進行管理及び連絡調整を行い、円滑な執行を行う													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	特になし。				
課題解決のための取組					
未解決の課題					
今後の方針	当面は現状を維持しながら、事業の進展に応じて必要な見直しを行う。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 道水路管理課長 稲葉 一男

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名		個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
運営事業	主な個別事業	530 下水道賠償補償保険	380	349	■適切 □見直し余地あり
		530 下水道責任賠償金	90	0	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり